

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	町名由来に関する事業			事業コード	2834
担当課等	所属名	環境部 環境企画課	担当係名		
	課長名	環境部 環境企画課	担当者名	鈴木 秀一	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード 5
	基本事業	歴史的文化的遺産の保護と活用	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 4目 保存建造物等管理整備事業 (002-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和51年度～)		
事務事業の概要	旧町名由来板の維持管理。					
根拠法令等	盛岡市環境基本条例「盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例」					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和37年に「住居表示に関する法律」が施行され、盛岡市においても旧市街地の古い町名の多くが、新しい町名に変わったことから、市民や市議会の要望もあり昭和52、53年度の2か年にわたり旧町名の保存を目的に「城下盛岡町割保存事業」を実施。専門家へ委託して調査した結果を基に、昭和53年度に市内27箇所に50町名分の由来等を記した説明文を「旧町名由来板」として設置したことが当事業のきっかけとなっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
旧町名の由来は、地域の歴史を理解する上で重要な要素となっており、また今後のまちづくりの視点から、市民及び議会などにおいて注目されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
町名由来板設置後30年近くが経過し、市民から説明文の誤りも指摘されていることから、平成20年度に専門家へ依頼して見直しを行い、平成21年度に、この監修作業を行い、「城下盛岡町名由来記」の改訂版(冊子)を作成した。今後は年次計画で町名由来板27基の更新を図ることとしている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市域の歴史的環境	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 町名由来板の管理数 B. C.	単位 単位 単位	基
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・城下盛岡町名由来記の改訂・冊子の作成 ・城下盛岡町名由来板の維持管理 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・城下盛岡町名由来板の維持管理	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 補修・更新した町名由来板の数 B. C.	単位 単位 単位	基
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	旧町名の由来は、地域の歴史を理解する上で重要であり、後世に引き継ぐべきものであることから、それを市民に周知を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 町名由来板更新率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 単位 単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	地域の貴重な歴史的文化的遺産を次世代に伝える	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	文化財数(国・県・市指定)(単位:件) 市保存建造物数(単位:件) 歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	町名由来板の管理数	基	27	27	27	27	27	27	29年度 27
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	補修・更新した町名由来板の数	基	0	3	3	3	3	3	29年度 3
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	町名由来板更新率	%	0	11	22	33	44	56	29年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	99	227	227	202	215	215	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	99	227	227	202	215	215	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	99	227	227	202	215	215	*****
	延べ業務時間数	時間	180	280	180	180	180	180	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	720	1,120	720	720	720	720	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	819	1,347	947	922	935	935	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 旧町名由来板の整備・設置は市民に広く城下町盛岡を周知する方法として有効であり、地域の貴重な歴史を後世に伝えることにつながるものである。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 盛岡市の歴史的環境は盛岡特有の財産であり、これを守り後世に伝えることは市の役割である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 城下町盛岡の由来を周知するため由来板を設置するものなので、現状で妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 歴史的環境の保全の観点から、旧町名由来を広く周知することが必要である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 町名由来板設置後30年近くが経過し、市民から説明文の誤りも指摘されたため、平成21年度に説明文の改訂を行なったところであるが、財政上、年間3基の更新予定となっており、できるだけ短期間で更新を完了することが課題となっている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 旧町名の由来は、地域の歴史を理解する上で重要な要素となっており、また今後のまちづくりの視点から、市民及び議会などにおいて注目されており、市の果たす役割は大きい。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 年次計画で町名由来板27基を更新する予定であるが、財政上、年度毎に3基更新するのが限界であり、これ以上の事業費の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 業務時間数は最小限にとどめているため、これ以上の削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 旧町名を効果的に周知する方法を検討する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 由来版の更新計画は、財政上、年度毎に3基更新するのが限界であることから、補助事業等の活用により、できるだけ短期間で更新を完了する必要がある。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成21年度の由来記の改定に基づき、3基の由来版の更新を行った。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>由来版の更新について、現計予算のみでは長期の期間を要することから、早期完成を目指して財源確保を図る必要がある。</p>									